

酪農

とちぎ



観測記録を更新した暖冬も終わり、梅の花も咲き桜の便りも聞こえ始めました。予報では春の気温は例年より高い見込みです。昨年同様降雨量が多い場合は日照時間が少なく、春の作付け時期の選択が困難になりますので、長期予報を参考にご配慮下さい。

輸入飼料に頼る現代酪農では、海外の状況の変化により、飼料の確保も不安定になっていきます。コストの削減と環境保全の観点から自給飼料が見直されていますので、良質な自給飼料の生産を行い、収益の向上を実施下さい。

組合においては「新栃木県南支所」が完成間近となり、四月から稼動し県南地域の統合が達成されます。



平成十九年度生乳計画生産

昨年度に引き続き、減産型の計画生産を継続することが中央酪農会議で決定され、平成十九年度の生乳計画生産・需給調整対策基本要領が定められました。この基本方針は、脱脂粉乳在庫の削減（五〇〇t）を行うために見合う生乳換算量（五七、〇〇t）を削減し、脱脂粉乳等の在庫を適正化することが狙いです。

関東生乳販連では、中央酪農会議での決定を受け、平成十九年度の計画生産は減産型を継続することとし、会員（組合）毎に目標数量を設定しました。また、需要期生産を推進するが、中酪の対策変更に伴い、需要期ペナルティの除外を中止するなど、目標数量の厳守を求めています。（関東では、目標数量を超過した場合は、中酪よ

り科せられる1kgあたり五十円のペナルティを超過会員（組合）が責任を負います。）さらに、期中において需給状況がさらに悪化した場合は、計画生産数量の修正を行うこととしていますが、第一四半期の生産状況を踏まえ、生産動向及び会員よりの返上数量を勘案し、超過見込会員に追加配分することとしました。

組合では、中央酪農会議・関東生乳販連の生乳計画生産対策の決定を受け、需給に沿った計画生産を実施することが決定しました。平成十九年度の本組合の配分は、平成十八年度実績見込み数量の約九八・七％で、二一六、七九六tとなり、この枠内での生産を強いられることとなりましたが、酪農経営基盤の弱体を防ぐため、組合

対策枠を設定し、その配分内で組合員毎に自主申告をお願い致しました。組合員毎の基準数量は、平成十五年～十七年度の間で最も出荷量が多かった年度もしくは、平成十八年度配分数量を基準数量とし、その値に九十七％を乗じたものが平成十九年度の上限数量となり、希望により組合特別枠の申請をして頂きました。これは、組合員毎の生産基盤の確保を目的として設置しており、増産を目的にしているものではありません。また、小規模酪農の保護策として、申告乳量が十万kg以下であり、出荷実績乳量が十万kg未満であった場合は、超過・未達ペナルティの対象外としました。

組合員毎の割当数量は、組合特別枠の申請後、経営規模・希望枠数量割合等を勘案し配分を行い、平成十九年度乳量割当配分が決定されます。

超過・未達量のペナルティについては、配分量の上下一％を許容

範囲とし、その範囲を超えた（下回った）量は、超過（未達）量とさせていただきます。超過量のペナルティは、需要期の超過量は不需要期の割当より削減され、不需要期の超過量は、1kg当たり乳価三十円（税別）で精算します。さらに、本組合が関東生乳販連の配分量を超過した場合などにより、余乳処理費用が発生した場合は、超過者が負担することとしました。また、未達のペナルティについては、需要期・不需要期毎に1kg当たり十円（不課税）を課すことになりましたが、災害等の特別な事情がある場合は、未達ペナルティを除外致します。

三月二十一日～四月五日の春休み期間における生乳生産は、中央酪農会議において全国的には若干前年を下回ると予想していますが、それ以上に需要が低下することが予想され、余乳処理に向け関東生乳販連において全乳哺育を推進しておりますので、ご協力をお願い申し上げます。



平成十八年

乳代集計

結果について

生乳生産実績

平成十八年一月～十二月の生乳生産実績はグラフ『乳量の推移』のような結果となり、合計でおよそ一〇、〇〇〇t、前年比四・九%増となりました。昨年の結果と比較すると、経産・未経産牛頭数共に増加に転じ（経産約一、〇〇〇頭増、未経産約六〇〇頭増）、経産牛ベースで前年比四・一%増となっております。経産牛の増加率よりも乳量の増加率が上回っていることより、飼養管理技術及び個体能力の向上が認められます。また、出荷戸数が減少する中（表を参照）、全体では頭数が増加する傾向にあり、大型化が進んでいるという結果となりました。支所別に乳量を見ますと、那須高原支所は増加、宇都宮支所は微減、栃木県南支所は微増となり、大型組合員の加入・脱退のあった那須高原支所に大きな変化が見られました。

乳質及び平均単価について

乳質については、細菌数は昨年並み、脂肪率、無脂固形分率にお

いて若干の下降が見られるものの、細胞数においては二・八ポイント向上と大きな改善が見られ、組合員の皆様が積み上げた成果が現れました。支所別乳質平均値は、脂肪率は宇都宮支所、無脂固形分率と細胞は栃木県南支所が好成績を収め、細菌数は各支所ほぼ同列となりました。

平均加算単価については、十八年四月の生乳乳質保全規程の変更に伴い（酪農とちぎ三六号三頁参照）過去の実績を下回る結果となりました。

飼養頭数

生乳生産実績の項でも触れましたが、二回の動態調査の平均において前年と比較し、経産牛頭数がおよそ一、〇〇〇頭増加しました。出荷戸数が減少する中、大型組合員の移動、設備投資による増頭などにより一戸当たりの経過牛頭数は二・八頭増となり、昨年の〇・五頭増を大幅に上回りました。

一頭当たり及び一戸当たりの乳量

経産牛一頭当たりの乳量は平均で八、〇〇六・六kgとなり、昨年より向上しました。支所別の成績では、宇都宮で八、二七三kg、次いで県南支所、那須高原支所と昨年同様の順となりました。

前述の通り乳量の増加、出荷戸

数の減少があり、その結果一戸当たりの乳量は二四、八八〇kg増と、大幅に増加しました。

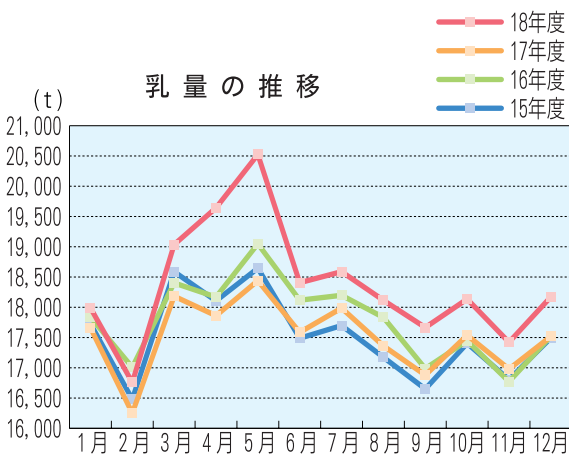
総括

グラフ『日量の推移』を見ますと、四月、五月に大幅な伸びがありましたが、牛乳の消費量低下の為に急激な計画生産の導入を余儀なくされ、組合員の皆様に多大なるご迷惑をお掛けしました。十九年についても消費の低迷が続くことが予想され、状況により臨機応変に対応することが求められます。

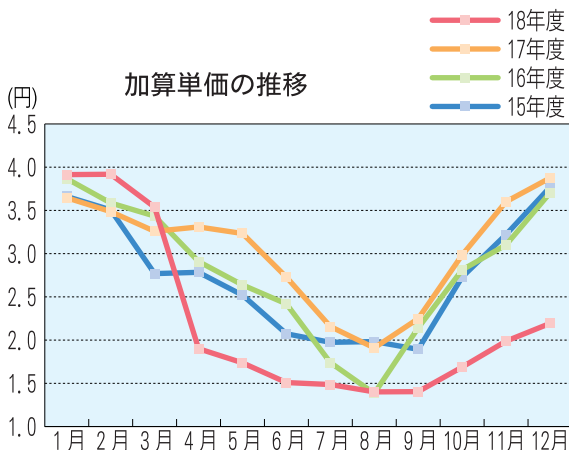
出荷戸数	16年	17年	増減
那須高原支所	421	409	- 12
宇都宮支所	135	132	- 3
県南支所	152	144	- 8
合計	708	685	- 23

計画生産も本年

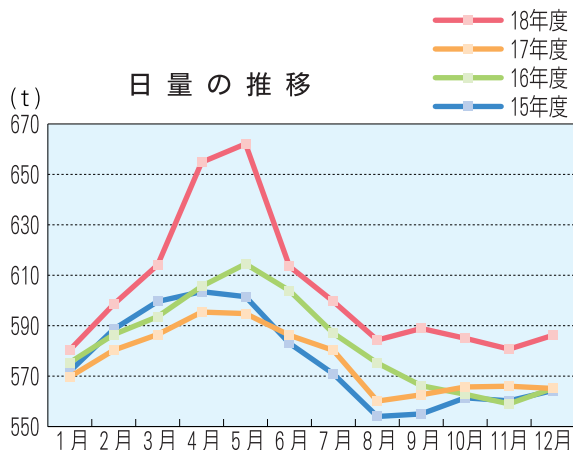
乳量の推移



加算単価の推移



日量の推移



度分は三月を残し、いよいよ胸突き八丁です。組合員の皆様にご協力をお願い申し上げますと同時に、ご尽力に感謝申し上げます。



組合購買利用推進女性研修会

去る二月十九日、鬼怒川温泉の鬼怒川御苑にて組合購買利用推進女性研修会を(参加者二百十四名)開催いたしました。

当日は春を感じるような暖かい日に恵まれ、各支所・事業所より到着したのち協賛メーカーの展示コーナーを見学し組合の推進担当やメーカーの推進担当から商品の案内や説明等を受けました。

夜の懇親会では、前田組合長よ



り組合購買利用の感謝と更なる利用のお願い、現状の酪農情勢報告等の挨拶があり、その後協賛メーカーの挨拶を頂いた後、菊池副組合長の音頭による乾杯を牛乳で声高らかに言い開宴いたしました。

宴会は、和気藹々と続く中で歌謡コンサート・大抽選会を行い、最後に相馬副組合長の締めにより盛会のうちに閉会いたしました。

購買部といたしましては、組合

員の奥様方と膝を交え、笑顔に接する機会を得ることができ、さらに安全・安心な生産資材の供給を推進してゆくことを再認識した研修会でした。



「ミルクの国 とちぎ」の牛乳講演会

牛乳をもっと知ろう

去る二月十三日、栃木県・栃木

県牛乳普及協会主催による牛乳講演会が、仁木良哉北海道大学名誉教授を講師に迎え、牛乳の正当な評価を、消費者・関係者にあらためて認識してもらう事を目的に開催されました。また、仁木良哉教授・宮本佳代子自治医大栄養管理室長・渡辺慶子(株)栃木リビング新聞社編集企画本部長の三人で、牛乳に関するアンケート調査結果を基に、「ミルク鼎談」が開かれ、牛乳に関する意見を交わしました。

講演に先立ち、福田栃木県知事より主催者の挨拶が行われ、栃木県における農業・酪農の現状と食育の推進・地産地消の必要性、牛乳の正しい知識の必要性について話され、栃木県の重要な産業の一つである酪農を発展させて行きたいと述べました。

講演は「牛乳の真実 ～牛乳の正当な評価～」と題し、牛乳有害説、牛乳タンパク質は消化が悪い・牛乳を多く飲むと骨粗鬆症にな

る・牛乳の脂肪は過酸化脂肪である・市販の牛乳を飲ませると仔牛が死ぬ・牛乳は仔牛のためのもの人間が飲むのは摂理に反するなど批判に対し、食物や食品成分の健康への影響について、科学的検証を加えずに、過大評価または過少評価したり、単純に「良い」とか「悪い」とか決めつけ、商品宣伝への悪用、また、食品に対していたずらに消費者の不安をあおり立てる風潮「フード・ファディズム」であり、骨粗鬆症になるという根拠となる論文の解釈が間違っている・牛乳の加熱殺菌で過酸化脂肪というが、牛乳中に酸化に必要な酸素が微量である上、牛乳は酸化しにくい食品である。過熱が駄目なら他の加熱調理はどうなるのか等々反論を述べ、優れた食品を薬(または毒)のように過大(過小)評価することも問題だが、美味しく色々な栄養を考慮した食生活が望ましいとしめくりました。

東西南北

那須高原支所

四地域酪農組合合同研修会



平成十九年一月二十三日、管内の四地域酪農組合による合同研修会が開催され、講師に日本酪農乳業協会（Jミルク）専務理事の青沼明徳氏をお迎えし、「牛乳乳製品の消費拡大について」と題して、「Jミルクで作成された牛乳の消費普及資料を交えながら、栄養満点という言葉では片付けられない、牛乳のすばらしい健康力のお話」を聴講させていただきました。わかり易くまとめられ、科学的知見に裏付けられた牛乳の持つ「三次機能（生体調整機能）」を八つのポイントにまとめ、牛乳を飲み続けることで体の調子を整え、健康を維持する働きを正しく理解し、自信を持って消費者へ情報提供していければ、その感を強く持たせていただきました。紹介された八つの機能は次

の通りとなりますので、皆様もぜひ覚えておいてください。

こんな悩みに効果を発揮！
牛乳の「三次機能」

風邪などをひきやすい↓ウイルスの侵入を抑える！

病気への抵抗力が弱い↓免疫力UPに効果的！

便秘が続いている↓便秘の解消をサポート！

血圧が高い↓高血圧の改善に貢献！よく眠れないことが多い↓不眠の悩みをやわらげる！

太り気味↓肥満防止の強い味方！コレステロールが気になる↓血流をスムーズに！

骨折しやすい↓骨の健康を守る！

宇都宮支所

高瀬次男氏最優秀賞受賞

「牛と共に五十年

私の酪農人生」

那須烏山市鴻野山、高瀬賢治氏の父次男氏（七十七歳）が、毎日新聞社主催による「農」への思いや体験をつづる「二〇〇六年毎日農業



記録賞」一般の部において最優秀賞を受賞されました。

一九五三年に妹さんの結婚の際結納金の代わりに初妊牛を頂いたのを機に始まった酪農。紆余曲折の中、良き酪農仲間と切磋琢磨し支え合ってきた五十年。現在は成牛六十四頭、育成未経産牛四十六頭の愛牛に囲まれ、小高い丘の上の牛舎で息子夫婦と頑張っております。

また、「美味しさは新鮮さにある」という高瀬氏は、一九八九年には「南那須こぶしが丘牧場」の発足に尽力され、今では低温殺菌の「こぶしが丘牛乳」生乳一〇〇%の「おなかにやさしいヨーグルト」は町内販売から全国発送まで広がっています。

「妻には苦勞をかけた。牛達の大きな犠牲の上に今の私たちの平穏な生活がある。牛達に感謝と慚愧（ざんき）の思いも強い。」という高瀬氏から、同じ命として、牛と向き合う姿を強く感じられます。皆さんと共に栄えある受賞を讃え、農の発展の牽引役になられることを祈念申し上げます。

栃木県南支所

青年部芳賀・河内南部下都賀支部合同研修会開催

二月七日、芳賀支部主催による



と和牛の使い分け等について講演して頂き、参加された部員は熱心に聴講されておりました。

研修会が開催されました。午前中は井沢幸雄牧場（二宮町谷貝新田）を視察され、午後、県南支所にて講師に榊雪印種苗・技術推進室の細田尚次氏を迎え、購入飼料費の高騰対策、デントコーン栽培の要点（土壌分析結果の読み方、コーンサイレージの品質、品種選択のポイント、除草剤の用法・用量等）に関する講習会が実施されました。現在、飼料代が高騰している中、コスト低減を図る上で自給飼料の生産向上は重要な課題となりますので、継続して実施する計画です。

二月二十一日、県南支所にて河内南部下都賀支部主催による講習会が家畜改良事業団の前橋種雄牛センターの田中健一氏を講師に迎え開催されました。「乳の出る後継牛を作る」と題し、種雄牛選定に関する内容で、初妊牛相場が上昇している今、種付けを見直し、後継牛を確保する為、種雄牛を選定する際の留意点やホルスタイン

部課だより

生乳販売課

生乳生産量一月度前年比九七・七%

一月度の生乳生産量は、一八、四五八トン（前年比九七・七％）の生乳生産量となりました。

一月度の支所別生乳生産量をみると、那須高原支所においては前年比九六・八％、宇都宮支所九九・三％、県南支所九八・八％の実績となりました。（前年比は移動組合員の数量を考慮した比率）

一月度、関東においては前年比九八・五％で累計では九八・七％となりました。

関東の一月の特定乳製品向けについては一一・四七％（前年一一・五四％）と前年より加工率は僅かに減少しましたが、飲用牛乳向けは四・八％の減と飲用需要の低

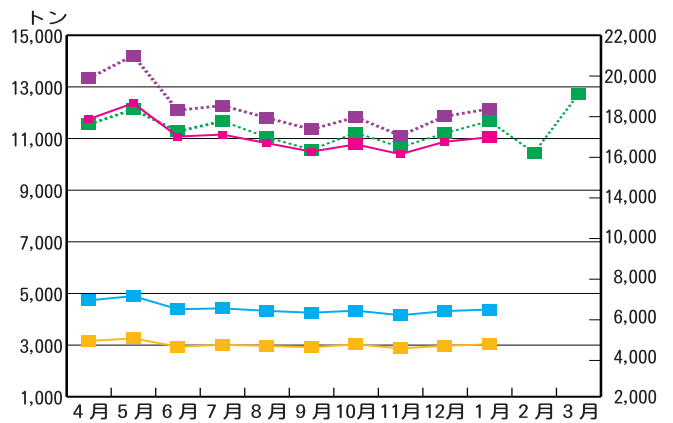
迷が続いております。また、はつ酵乳向けについては前年比一一・五・三％となっております。

全国の生乳生産量においても一月度（前年比）九七・五％、累計では九七・四％となっております。組合における一月度乳質成績は、脂肪率が四・〇四％、無脂固形分率は八・八四％でほぼ前年同様となりました。細胞数については一月においても前年を下回る一九・一万（前年二一・七万）の好成绩となりました。

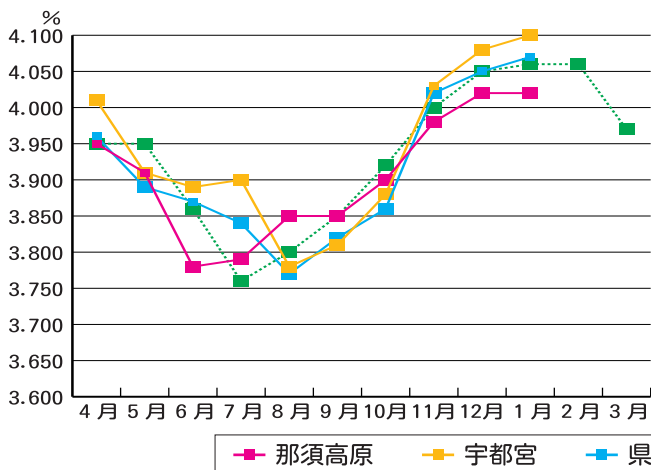
一月迄の乳量及び乳質成績は下記ののとおりです。



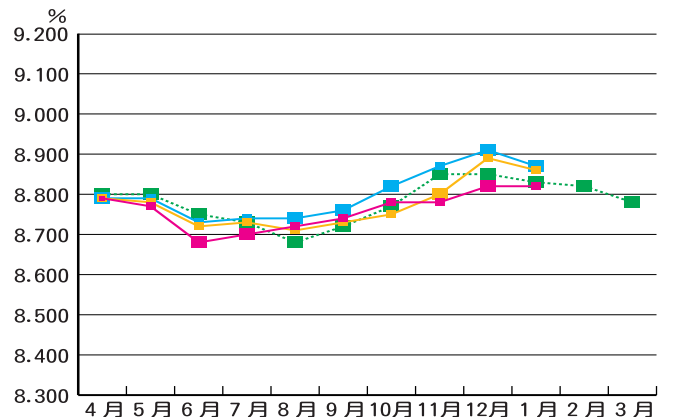
◆ 乳量の推移



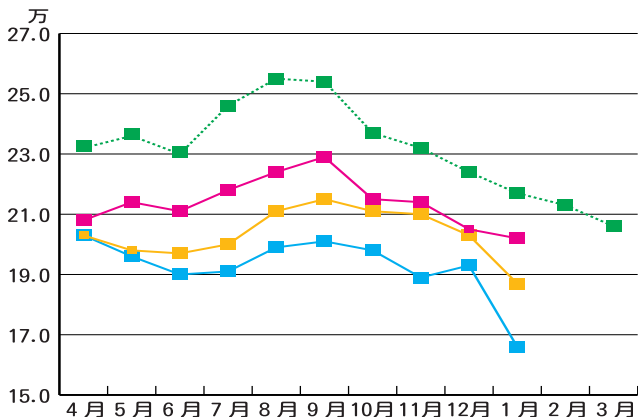
◆ 脂肪率の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



◆ 体細胞数の推移



酪農部

栃木県酪農発表会開催される

栃木県酪農協会主催による、第三十二回栃木県酪農発表会が、去る二月六日（火）宇都宮市駒生町「コンセーレ」において開催されました。

発表者は、県内各酪農協より推薦された優秀な酪農家であり、発表者自身の経営の成果や、地域での仲間との連携活動状況等の意見体験の内容について発表が行われました。

当日は、県内より多くの酪友や関係機関の皆様の参加をいただき、会場は熱気に包まれ盛会でありました。

特に本年度は、酪農生産現場としては、減産計画という厳しい年でもありましたので、この発表会において県内の酪友の発表を聞いて、明日からの酪農経営の合理化



や近代化を図ることでの生産性の高い安定的経営を確立し、経営の向上に役立つ技術等を得ることが出来た発表会でありました。最優秀賞は経営発表の部「リバーファーム」仲間と歩む楽農」と題して発表された、宇都宮市の川田佳男氏が受賞され、栃木県知事賞が交付されました。

この発表会で、最優秀賞に輝いた川田さんは、来たる三月二十七日～二十八日の二日間、千葉県鴨

川市で開催される関東甲信越酪農発表大会に栃木県代表として出場されます。又、審査員推薦により意見体験発表の部で、那須町の磯由起子さんも出場することになりました。

つきましては、関東甲信越酪農発表大会に、酪農家の皆様の研鑽の場として多くの酪友の参加と本県代表者の応援も兼ねて参加をお願いいたします。

第三十二回栃木県酪農発表会結果

最優秀賞

川田 佳男（宇都宮市）

優秀賞

磯 由起子（那須町）

前野 剛（大田原市）

渡邊 喜夫（鹿沼市）

高橋 力（那須町）



2月ホクレン初妊牛市場成績

〔単位：頭、千円（税込）〕

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	～400	401～450	451～500	501～550	551以上
根室	2月1日	358	485	14	70	183	54	37
十勝	2月6日	370	470	43	79	172	54	22
南北海道	2月9日	115	454	16	40	49	5	5
豊富	2月15日	344	479	34	54	128	115	13
十勝	2月20日	507	486	66	97	146	134	64
釧路	2月21日	317	463	32	81	139	57	8
根室	2月22日	422	495	16	90	140	116	60
北見	2月23日	308	468	52	71	101	58	26
合計		2,741	478	273	582	1,058	593	235
前月		2,080	484	116	392	927	482	163
前年同月		2,994	463	398	813	1,056	568	159

家畜市場成績

平成19年3月

〔単位：円（税込）〕

市場名	種別	成立頭数	平均体重	最高	最低	平均
西那須野	五日					
	ホルス雄	131	-	65,100	1,050	42,461
	F1雄	111	-	190,050	73,500	145,950
	F1雌	88	-	140,700	5,250	88,606
館林	七日					
	ホルス雄	8	75	52,000	21,000	37,250
	F1雄	29	93	237,000	150,000	191,483
	F1雌	29	87	179,000	23,000	125,586





理事会だより

一 月 度 理 事 会

報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 一月分生産者支払乳価について
- (三) 平成十九年度職員採用について

協議事項

- (一) 十二月度及び第三四半期事業実績について
- (二) 平成十九年度配合飼料・混合飼料及び粗飼料供給量別利用奨励措置について
- (三) 第六回酪農まつりについて
- (四) さくら市氏家地区農産物直売組合への加入について

二 月 度 臨 時 理 事 会

報告事項

- (一) 平成十九年度計画生産について
- (二) 乳質共励会実施規程について
- (三) 平成十八年度生乳計画生産

における超過乳の取り扱いについて

- (四) 緊急生乳計画生産対策の実施について

二 月 度 理 事 会

報告事項

- (一) 組合員加入について
- (二) 資金貸付について
- (三) 二月分生産者支払乳価について

協議事項

- (一) 一月度事業実績について
- (二) 理事への貸付について
- (三) 組合員の出資口数の減少について
- (四) 不稼動資産の処分について

お知らせ

第六回酪農まつり

恒例の酪農まつりが、平成十九年四月七日(雨天順延)、那須塩原市の酪農試験場で開催されます。

盛り沢山の催物を準備しておりますので、ご家族そろってご来場下さい。

乳製品ギフト券のご紹介

乳製品消費拡大を目的にギフト券二種類を販売します。冠婚葬祭等でも、ぜひご利用ください。

- 明治ブルガリアヨーグルト
- 五 g 一個

一枚 二六二円(税込)

- 明治プロビオヨーグルトLG21
- ドリンクタイプ

二二 ml(食べるタイプも有り)四個

一枚 五三 円(税込)

(別途、送料がかかります。)

ギフト券は随時販売しておりますので、お申込み等は市乳販売課までご連絡ください。



名誉農業士に二名認定

今年度の農業士認定式が一月に行われ、当組合より菊池一郎代表理事副組合長(那須烏山市)、渡邊勝雄氏(那須塩原市)が名誉農業士に認定されました。今回の認定



で、農業士百五十七名、女性農業士九十七名、名誉農業士百二十九名となりました。また、

菊池副組合長は名誉農業士の代表として謝辞を述べ、ここまでの苦労とこれからの意欲を交え、関係機関、仲間に支えられたことに感謝したいと挨拶をしました。

最後に、認定された両名に心よりのお祝いと更なるご活躍を期待申し上げます。

